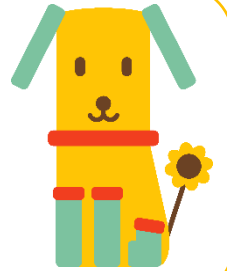


Contents

- 創刊および新年のご挨拶
- 2019年の活動報告
- 主催イベントのご案内
- 動向レポート Vol.6
- 調査・研究レポートのご案内
- 編集後記



■ 創刊のご挨拶

松の内の賑わいも過ぎ、皆様お忙しい日々をお過ごしのことと存じます。新年のご挨拶が遅れまして申し訳ございませんが、旧年中は皆様にご支援をいただき、深く感謝申し上げます。二〇二〇年も、限られた人数ですが、所員一同、力を合わせて、さまざまな課題に向かっていく決意です。で、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

当研究所は、昨年四月五日に、設立三周年を迎えました。少しずつではありますが、お声をかけていただけるとも増えてまいりました。そこで、これまで以上に、私たちの活動や取り組んでいることについて、皆さまにもっとわかりやすく伝えていきたい、そして皆さまとコミュニケーションをとれる媒体が欲しいと考え、このたび、『未来の図書館 研究所 ニュースレター』を創刊いたしました。この試みを通じて、情報発信しつつ、図書館に関わる皆さまの輪を拡げていけるようなことができると考えております。今後も発行していく所存です。よろしければお付き合いただけますと幸いです。

二〇二〇年一月

未来の図書館 研究所

所長 永田 治樹

2019年の活動報告

3月 ■ 『未来の図書館 研究所 調査・研究レポート』Vol.2 を発行しました

4月 ■ 静岡県立図書館協会・静岡県立中央図書館主催「館長研修会」にて、所長 永田が講師を担当しました。

当日の講演「これからの公共図書館の再検討：論点整理と欧州での展開事例」のスライドを当研究所 Web サイトにて公開しています！

http://www.miraitosyokan.jp/future_lib/lecture/lecture20190423.pdf

6月 ■ 豊田市立益富中学校の皆さんが修学旅行の班別学習で来社されました

「未来の図書館」について興味のある中学生の皆さんが

図書館のこれからのあり方についてインタビューを受け、未来の図書館について語り合いました！



7月 ■ ヘルシンキ市立中央図書館 Oodi (フィンランド), オーフス公共図書館 Dokki (デンマーク) を視察しました

■ 「令和元年度都立中央図書館の在り方に係る調査検討等業務委託」を受託しました

9月 ■ 第3回ワークショップ「図書館員の未来準備」を開催しました

■ FM ラジオ J-wave 放送の「TOPPAN FUTURISM」(毎週日曜21:00放送) に所長 永田が出演しました

10月 ■ 動向レポート Vol.6 発行

11月 ■ 第4回シンポジウム「図書館とランドスケープ」を開催しました

■ オープンレクチャー「地域資料・古典籍のアーカイブ構築と活用」を開催しました

■ の項目については、次ページ以降で詳しくご紹介します！

■ 未来の図書館 研究所 主催イベントのご案内

■ 第3回ワークショップ「図書館員の未来準備」

図書館員の皆さまのための未来準備として、ワークショップを開催しております。

2019年は、進展し続ける情報技術の学び直しの機会として、オプション科目を設けたほか、テーマの更新をし、新しい講師の方々にも加わっていただき、充実した内容となりました。第3回となった今回は、第1回ワークショップ受講者からのお申込み(リピーター)も3名あり、テーマの更新の効果を実感しております。今回は地方からもたくさんのお申込みをいただき、受講者数は過去最多となりました。実り多きワークショップを展開していただきました講師の皆さまに厚く御礼申し上げます。2020年も皆さまのご期待に沿えるよう、魅力あるワークショップを企画してまいります。



第3回 ワークショップ 図書館員の未来準備

「図書館員の現場のこれからに向けて」未来準備。このワークショップを企画いたしました。「現場の課題」を問い、未来を模索している「図書館システム」をテーマとし、講師はそれぞれの役割や職種の専門性を生かしての場となりました。

Schedule

9日(月) 領域①「図書館情報システム」
10:00-12:00 「デジタルアーカイブ」/増井 ゆう子 氏(前 国文学研究資料館書誌学共同研究センター)
13:00-17:10 「図書館サービスのための情報技術」/牧野 雄二 氏(未来の図書館 研究所主任研究員)

17日(火) 領域②「図書館の役割1」 テーマ「図書館と学び」
13:00-15:00 渡辺 ゆうか 氏 (SDG4 STEM 学習協会/フタバが理代代表)
15:10-17:10 鹿井 史絵 氏 (青山学院大学専攻)

24日(火) 領域③「図書館の役割2」
テーマ「図書館と地域コミュニティ」
13:00-15:00 手塚 英希 氏 (滋賀県図書館)
15:10-17:10 太田 剛 氏 (図書館と地域をむすぶ協議会
チーフ・ディレクター/愛媛県立大学講師)

30日(月) 領域④「図書館情報システム」
10:00-12:00
「図書館サービスの未来準備1 VRとAR.そしてAI」
/宇野 潤 氏 (筑波大学教授)
13:00-17:10
「Webを活用した図書館サービス」
/川崎 斉 氏 (Code4Lib JAPAN/野田市立図書館)

2019年9月【4日間4科目】
9日(月)/17日(火)/24日(火)/30日(月)

会場 東京都文京区本郷5-23-12 鳩山ビル6階

受講料 全科目:12,000円(全て税込)
領域①:6,000円・領域②:3,4,000円

定員 各回10名程度(対象:図書館勤務経験者)

申込方法 下記お申し込みのメール、または未来の図書館研究所 Web サイトの申込フォームよりお申し込みください

お問合せ 株式会社 未来の図書館 研究所
〒113-0053 東京都文京区本郷5-23-12 7階
TEL 03-6673-7287 FAX 03-6772-4395 info@miraotosokan.jp
主催: 未来の図書館 研究所

詳細はこちらのページ https://www.miraotosokan.jp/future_ks/ks201909/ をご覧ください

■ 第4回シンポジウム「図書館とランドスケープ」

未来の図書館に関わるテーマで、知識を深め、議論するシンポジウムを開催しております。

今回は、図書館の景観(自然景観、地域景観、設計景観)と、情報景観の二つの側面から、図書館のランドスケープを考えました。前者については UAo 株式会社の伊藤麻理氏、後者については元岡山県立図書館の森山光良氏をパネリストとしてお招きし、コーディネーターは所長 永田が務めました。また、前述の二つの側面にまたがる部分(図書館の設計景観、情報景観)についてお話いただくため、図書館と地域をむすぶ協議会の太田剛氏にフロアからコメントをいただきました。本シンポジウムの記録を作成できたい、当研究所 Web サイトにて公開いたしますので、ぜひご覧ください。

当日のプログラム

1. 開催のあいさつと趣旨説明 (永田 治樹)
2. 講演「図書館から広がる地域おこし 那須塩原市の未来を考える」(伊藤 麻理氏)
3. 講演「デジタルアーカイブにおける情報のランドスケープ」(森山 光良氏)
4. ディスカッション

図書館と ランドスケープ

未来の図書館 研究所
第4回
シンポジウム

読書や調査にしろとどろき、人びとが出会い、ときをすごすのにかかわりあふ図書館空間を求め、私たちは、物理的環境が与える価値、空間をむすぶ役割に考えをよびあわせています。また、デジタル化の進展により、価値はこれまでの資料とは違った形をとります。そこで今回は、さまざまに試みられた展示手法などを含む、図書館のランドスケープ(景観)を考えてみたいと思います。

パネリスト

伊藤 麻理 氏 (うらべ まり) 氏
UAo株式会社 代表取締役
東京大学大学院工学系研究科 建築学専攻 教授

森山 光良 氏 (もりやま みつよし) 氏
日本建築学会 理事 会長
岡山県立図書館 館長

コーディネーター
永田 治樹 氏 (ながの ちはる) 氏
株式会社 未来の図書館 研究所 所長

1974 年岡山県生まれ。東京大学大学院工学系研究科建築学専攻博士課程修了。2001 年 UAo 株式会社 代表取締役。2010 年東京大学大学院工学系研究科 建築学専攻 教授。2015 年岡山県立図書館 館長。2018 年日本建築学会 理事 会長。2019 年岡山県立図書館 館長。2021 年岡山県立図書館 館長。2022 年岡山県立図書館 館長。2023 年岡山県立図書館 館長。2024 年岡山県立図書館 館長。

1974 年岡山県生まれ。岡山県立図書館 館長。2018 年岡山県立図書館 館長。2021 年岡山県立図書館 館長。2022 年岡山県立図書館 館長。2023 年岡山県立図書館 館長。2024 年岡山県立図書館 館長。

1974 年岡山県生まれ。岡山県立図書館 館長。2018 年岡山県立図書館 館長。2021 年岡山県立図書館 館長。2022 年岡山県立図書館 館長。2023 年岡山県立図書館 館長。2024 年岡山県立図書館 館長。

日時 2019年11月11日(月)13:30~16:30

会場 日比谷図書文化館(地下1階) 日比谷コンベンション大ホール

受付 事前申込み制(定員になりしだい締め切らせていただきます) **定員** 200名 **参加費** 無料

お申し込み 下記アドレスのメールまたは未来の図書館研究所 Web サイトの申込フォームよりお申し込みください

お問合せ 株式会社 未来の図書館 研究所 info@miraotosokan.jp Web サイト <http://www.miraotosokan.jp>
〒113-0033 東京都文京区本郷5-23-12 7階
TEL 03-6673-7287 FAX 03-6772-4395 主催: 未来の図書館 研究所



■ オープンレクチャー「地域資料・古典籍のアーカイブ構築と運用」

未来の図書館 研究所オープンレクチャー (LoFR Open Lecture) は、国内外で活躍されている図書館関係の研究者等をお招きし、ご講演や交流の機会とさせていただきます。

2019年は、国文学研究資料館古典籍共同研究事業センターの増井 ゆう子氏をお招きいたしました。国文学研究資料館で携わってこられた「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」について、アーカイブ事業の進め方や地域資料の活用事例等についてお話しいただきました。当日のスライドを、当研究所 Web サイトにて公開しております。

https://www.miraitosyokan.jp/future_lib/lecture/201911/LoFR_OL201911.pdf



未来の図書館 研究所 オープン・レクチャー
LoFR Open Lecture

地域資料・古典籍のアーカイブ構築と活用

講演者 **増井 ゆう子 氏**

国文学研究資料館 古典籍共同研究事業センター 事務室 特任専門職員

講演者経歴
国文学研究資料館で主として和漢古典籍の
取扱い・書籍作成・データベース構築を担
当し、総主催の日本古典籍編纂会では講師
を務める。現在進行中の「日本語の歴史的
典籍の国際共同研究ネットワーク構築計
画」には、当館より携わる。平成13年～
19年に日本図書館協会自録委員会委員。

日時
2019年 **11月25日(月)**
14:00～16:00 (13:30開場)

場所 東京都文京区本郷 5-23-12 6階 定員 35名 参加費 無料

受付 事前申込み制 (定員になりましたら締めさせていただきます)

お申込み方法 下記問い合わせ先へメール、電話または未来の図書館 Web サイトの申込フォームよりお申し込みください

お問い合わせ 株式会社 未来の図書館 研究所 info@miraitosyokan.jp <http://www.miraitosyokan.jp>
〒113-0033 東京都文京区本郷 5-23-12 7階 TEL 03-6673-7287 FAX 03-6772-4395

主催：未来の図書館 研究所
The Institute of the Future Library Research

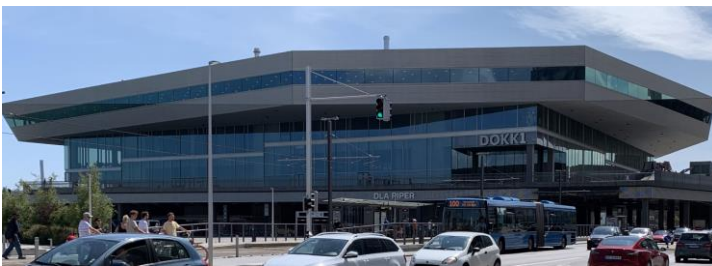
■ 動向レポート Vol.6「Dokki から Oodi へ：公共図書館の新しい表情」

当研究所では、日常的に公共図書館に関わる動向の把握に努めています。それらのうち、図書館員、研究者、自治体の図書館担当者など、種々の利害関係者の間で共有することに意味のある情報・知見を、ウェブサイトにて『動向レポート』として公表しています。

これまでに、Vol.1「公共図書館の動向を新聞記事見出しに探る(1)」、Vol.2「未来の図書館のエコシステム」、Vol.3「公共図書館の動向を新聞記事見出しに探る(2)」、Vol.4「マイクロ・ライブラリーをマッピングする」、Vol.5「『ホライズン・レポート 2017 図書館版について』を公開しています。2019年は、Vol.6「Dokki から Oodi へ：公共図書館の新しい表情」を所長 永田が執筆いたしました。

http://www.miraitosyokan.jp/future_lib/trend_report/vol6/

2019年夏に、都市図書館の新たな動きを追って視察に訪れた、北欧の二つの都市の公共図書館についてまとめております。一つは、IFLA (国際図書館連盟) の Public Library of the year 2016 を受賞したデンマークのオーフス (Aarhus) 公共図書館 Dokki。もう一つは、Public Library of the year 2019 を受賞したフィンランドのヘルシンキ市立中央図書館 Oodi です。



Dokki



Oodi

2019年に東京都教育庁より受託した「令和元年度都立中央図書館の在り方に係る調査検討等業務委託」にも、先進事例として Oodi を取り上げており、この視察の内容が活かされています。

これまでの視察や調査・研究の成果を生かし、図書館計画検討、住民意向調査や現状調査・事例調査、図書館システムに関わる企画・提案など、皆さまの図書館に関わる課題の解決に向け、支援を行っています。お気軽にご相談ください。

調査・研究レポートのご案内

未来の図書館 研究所では、私どもの研究に得られたところをとりまとめ、定期的に皆さまに紹介する機会として、2017年より『未来の図書館 研究所 調査・研究レポート』を発行しています。

第3号となります次号では、第3回シンポジウム「図書館とサステナビリティ」の記録、研究レポートとして、第2回ワークショップにて講師をご担当いただきました、宇陀 則彦氏(筑波大学教授)、増井 ゆう子氏(国文学研究資料館古典籍共同研究事業センター)に、ご寄稿いただく予定です。発行は、2020年3月を予定しております。

次号およびバックナンバーの送付をご希望の方は、ご送付先、必要部数等を、下記発行人連絡先までお知らせください。

■ バックナンバーのご案内

・創刊号 Vo.1(2017)



目次

- 第1回シンポジウム 記録
「図書館のゆくえ ー今をとなえ、未来につなげる」
- 研究レポート
 - ・「アクセス解析に基づく公共図書館活動の把握: Google アナリティクスを活用した事例」(牧野 雄二)
 - ・「公共図書館の利用圏に関する研究の発展」(戸田 あきら)
 - ・「図書館の未来を議論する: ALA 図書館の未来に関するサミットと図書館の未来シンポジウム」(永田 治樹)

・Vol.2(2018)



目次

- 第2回シンポジウム 記録
「図書館とソーシャルイノベーション」
- ワークショップ「図書館員の未来準備」の概要
- 研究レポート
 - ・「つながりっぱなしの日常に、『図書館』をいかに埋め込むか: ソーシャルデジタルライブラリーの設計技法の確立に向けて」(常川 真央)
 - ・「『Webを活用した図書館サービス』を考える」(川嶋 斉)

編集後記

『未来の図書館 研究所ニュースレター』創刊号をご覧いただきまして、誠にありがとうございました。いかがでしたでしょうか。ニュースレターに取り上げてほしいこと、もっと詳しく知りたいことなど、皆さまからのご意見、ご感想をお待ちしております。

さて、「2019年の活動報告」には記載しませんでした。昨年3周年を記念して、オリジナルクリアファイルを作成しました。クリアファイルに描かれている、当研究所のキャラクター「MITO」についてご紹介させていただきます。皆さま、「MITO」ご存じでしょうか?これまで、当研究所 Facebook ページや年賀状ではこっそり成年の新年のあいさつに登場したことがあるのですが、研究所という真面目な仕事柄、なかなか登場の機会がありませんでした。実は、MITO はデザイナーの渡辺ゆきのさんにつかっていただいたもので、このまま目の目を見ないのはもったいないと感じておりました。そんな中、豊田市立益富中学生の皆さんがいらっしやることになり、親しみやすさをアピールするため、3周年記念「MITO」クリアファイルの作成が実現しました!

名前の由来は、未来の図書館 研究所の略称(実はあるんです)「未・図・研(みとけん)」の「研」を「犬」にもじった「未図犬」からきているのです。しっぽのひまわりの秘密など、細かい設定がいろいろあるのですが、話せば長くなりますので、そちらの説明はまた次号に続きます。

2020年も、MITO 共々、未来の図書館 研究所をどうぞよろしくお願ひ申し上げます。(木村 瞳)



発行

編集・発行:株式会社 未来の図書館 研究所

〒113-0033 東京都文京区本郷 5-23-12 鳩山ビル 7階

✉ info@miraitosyokan.jp ☎ 03-6673-7287 FAX 03-6772-4395

URL: <http://www.miraitosyokan.jp>  <http://www.facebook.com/miraitosyokan/>



図書館づくりのご相談、原稿執筆、講師依頼等、その他お気軽にご連絡ください。

今後、このような媒体が不要な方も、その場合は大変お手数をおかけいたしますがご連絡いただけますと幸いです。